

# 富合 民話 コース

**見!** 南区出身の寿咲さんが教える富合地域に残る民話や言い伝えなどを巡るコース。のんびり四季を感じながらのサイクリングがおすすめ。



memo

## ① 大慈禪寺

順徳天皇の第3皇子の寒巖(かんがん)禅師が創建しました。寒巖禅師は中国宋からの2回目の帰国後、激流で橋を架けることは難しいとされた緑川に河尻荘領主河尻泰明などから援助を受け大渡橋を建設しました。そのことをきっかけに河尻氏と交流を深めお寺を建てる領地を寄進され、大慈禪寺(大慈寺)を創建しました。

## ③ 廻江公民館の清正像

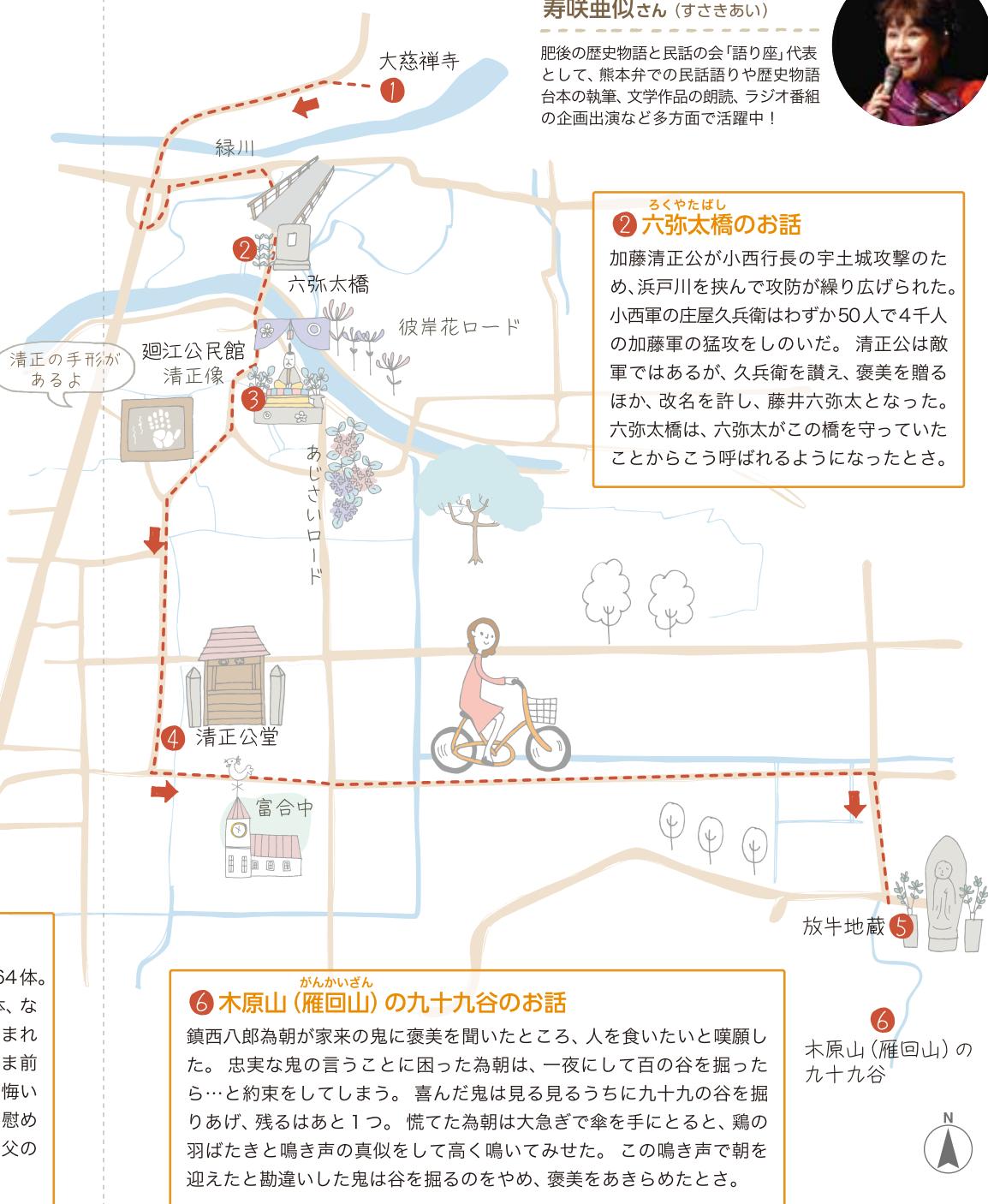
廻江地区にある公民館に清正像を祭っています。清正像の台座には蛇の目と桔梗の紋が付けられています。川がくねり廻っていたこの地域は、洪水に悩まされていましたが、清正公の治水工事により洪水がなくなりました。毎年7月下旬に、清正公(せいしょこ)さん祭りを開催しています。

## ④ 清正公堂

この付近は、かつて沼地であったといわれています。清正公が開墾により田畠にし、米が取れるようになりました。そこで清正公に感謝する農民の手でこのお堂が建てられたといわれています。ここでも7月下旬には、清正公(せいしょこ)さん祭りを開催しています。

## ⑤ 放牛地蔵のお話

放牛という僧が彫った地蔵で、木原不動尊の石段の横にある。第64体。熊本市を中心に、県内各地に設置され、番号があるものが107体、ないものを含めると115体ある。放牛は幼少期に父に買物を頼まれたが、ためらっていたところ、父が火吹き竹を投げつけ、たまたま前を通りかかった武士に当たった。怒った武士は父を斬り殺した。悔いて出家し「放牛」と名乗り、10年で100体の地蔵を彫って父の靈を慰めようとした。後に父を殺した武士が訪ねてくるが、恨むことなく父の冥福を祈るように諭したとさ。



寿咲亜似さん (すさきあい)

肥後の歴史物語と民話の会「語り座」代表として、熊本弁での民話語りや歴史物語台本の執筆、文学作品の朗読、ラジオ番組の企画出演など多方面で活躍中！



幸田

南部

城南

富合

飽田・天明

緑川・加勢川

# 富合 雁回山ふもと コース

**見!** 市外から多くの観光客も訪れる六殿神社や木原不動尊の大祭など、古くから受け継がれている伝統・文化を見ることができます。天気が良ければ雁回山登山もおすすめです。



## ★ 黒皮かぼちゃ(肥後野菜)

富合町の木原地区で収穫された黒皮かぼちやは地元では「木原かぼちや」と呼ばれ、親しまれています。木原かぼちやは水分が多く、甘みは少ないですが、果肉がきめ細かでやわらかく煮崩れしないため、高級食材として料亭などで使われています。



## ここもおすすめ 「サンサンうきっ子」

地元で採れる新鮮な野菜や花などの農産物の他にも手作りの弁当や惣菜などの加工品も豊富に揃っています。地元の人だけではなく遠方から多くの人が訪れています。 ■休み/火曜、年末年始

「木原不動前」バス停(熊本バス)

□熊本バス管理課 TEL096-370-8215

